

痔の手術

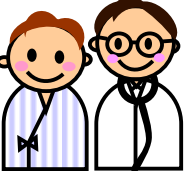
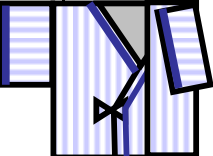
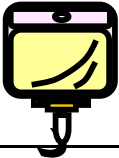
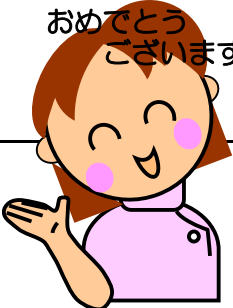
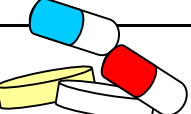
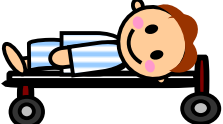
入院治療計画書

ID：患者氏名：様

生年月日：病名：

入院科/病棟：主治医：㊟ 担当医：

担当看護師主治医以外の担当者：薬剤師管理栄養士

月／日	／		／	／	／	／	／
経過（病日等）	外来～手術前日		手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1病日	2～4病日	5病日（退院日）
達成目標	①手術・治療について説明をうけ、安心して準備段階を過ごすことができる。 ②わからないことは遠慮せず、医療者に確認することができる。 		①術前準備について説明をうけ、安心して手術室へ出棟できる	① 医療者の問いかけ、指示に従うことができる（深呼吸） ② 痛みを訴えることができる。	①痛みを訴えることができる ② 術後偶発症について説明を受け、予防行動がとれる。 ③歩行ができる。	①処置方法が理解できる。	①処置が自分でできるようになる。 ②日常生活を送るのに差し支えない程度に痛みが軽快し退院できる。
治療・処置		○必要に応じて除毛を行います がんばりましょう！ 	○朝～点滴をはじめます ○手術着に着替えます  	○看護師が頻回に伺い、体温や血圧測定などを行います ○手術後の点滴をします ○抗生剤の点滴をします	○看護師が伺い、体温や血圧測定などを行います ○朝、食事開始前に傷口を確認します。ガーゼを交換し、軟膏を塗ります。（軟膏は朝と寝る前に塗ります） ○点滴は朝までで終了です。	○傷口を確認します。 ○軟膏を自分で塗ります。 ○排便後に創部を洗浄します。	○傷口を確認します。 
検査	○胸部・腹部のレントゲン写真、血液検査、心電図などをします						おめでとうございます 
内服		○お薬を飲んでいる方は他院の薬を含めてすべて持参してください ○手術前日に下剤を内服します					
食事		○夕食（濃厚流動食）までとれます ○飲水は自由です	○午前（ ）時まで飲水ができます 	○手術後は麻酔の効果がなくなれば、水分の摂取は可能です。	○朝から3分粥を開始し、1食ずつ硬いお粥にしていきます。		傷口や便の性状が良ければ、常食（軟菜）にします。
看護		○院内は自由です ○入浴またはシャワーができます ○トイレで排泄ができます		○基本的にベット上で安静です。 ○麻酔の効果がなくなれば、トイレ歩行は可能です。（ふらつくことがあるので初回歩行は看護師を呼んでください。） ○痛みがある時、眠れない時は看護師までお声をかけてください。		○第2病日以降、シャワー浴ができます	
リハビリ							
説明・指導	○医師より手術について、説明があります ○入院の日程について説明があります	○看護師より入院生活について説明があります ○薬剤師より持参薬・服薬歴の確認を行います	○術前の準備、術後の状態、痛みのケア、安静、トイレ、清拭についてご説明します ○手術前にうがい、歯磨きを済ませておいてください ○ヘアピン、義歯、貴金属類をおとりください ○手術前にトイレを済ませておいてください	○担当医から、ご家族の方へ手術結果の説明があります 		○軟膏の塗り方や、排便後の傷口の洗浄方法について説明します。	○退院後の生活についてご説明します ○次回の外来受診日についてご説明します

★ 特別な栄養管理の必要性 有・無

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2 入院期間については現時点で予測されるものです。

ご不明な点は遠慮なくスタッフにお尋ねください。

高齢者総合評価の実施 ☐ 有 ☐ 無

総合的な	基本的生活動作	☐	問題なし	☐	要精査または要経過観察
	日常生活動作	☐	問題なし	☐	要精査または要経過観察
	認知機能	☐	問題なし	☐	要精査または要経過観察
機能評価	気分・心理状態	☐	問題なし	☐	要精査または要経過観察

上記の説明を受け、治療内容を理解しました。

年 月 日

説明者：

説明を受けた人： 続柄

（代表者）（ ）
パス承認番号(No.19)承認年月日(2015年2月25日)
＜管理No.80＞